

惑星アエロブレーキの基礎技術の研究

大目的：木星周回軌道に投入する際の推進剤減少

当初5年間計画：

小型人工衛星による地球軌道での実験

テザー衛星、地球再突入技術の実績活用

- > 産学官連携による波及効果

特徴：

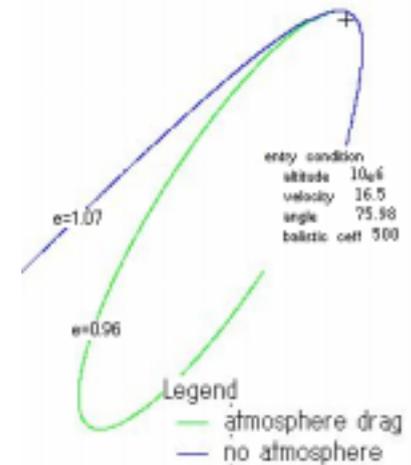
- ・ テザーと揚力の利用
- ・ 化学推進との併用によるリスク吸収
- ・ 高精度軌道制御

目標成果

- ・ 宇宙機機能確認
- ・ 木星赤道直径に較べ0.3%の突入コリドール確保
- ・ 機体形状(L/D)と軌道制御能力の確認
- ・ 木星大気を模擬した空力加熱の実験と数値流体力学による予測手法の確立



Principal Researcher
Prof. T. Yasaka



Jupiter Aerobrake Simulation